

# 岩手県における在宅医療推進 ～各地域の取組を支援する立場から～

岩手県保健福祉部医療政策室

主事 松戸 利享

(岩手県リーダー)

# 岩手県の概要

○ 人口 約130万人

○ 面積 約15,000km<sup>2</sup>

- 雪国
- 県央に北上山地  
(内陸～沿岸 車2時間)

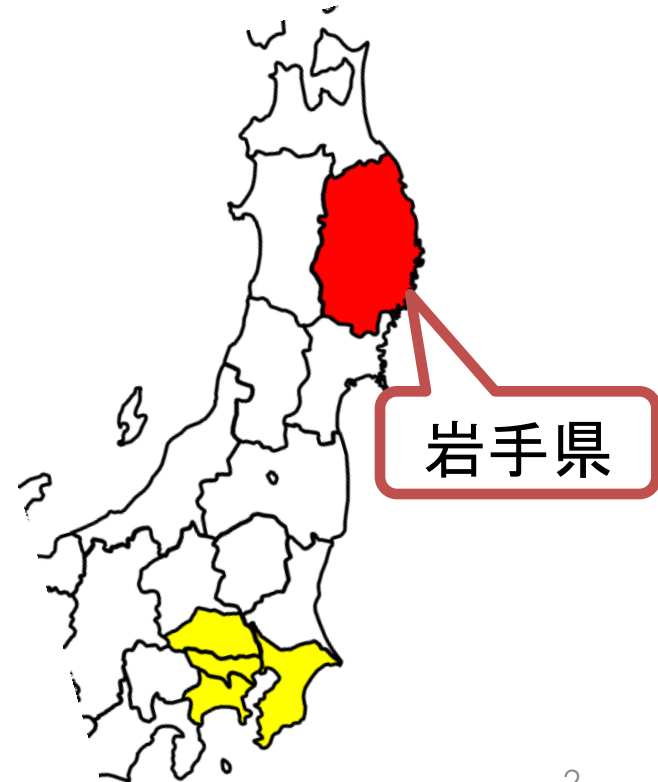
高齢化率	2010年	2025年	2040年
本県	28%	36%	40%
全国	23%	30%	36%

国立社会保険・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(H25.3)

○ 地域差

	県央・県南	沿岸・県北
人口密度	高	低
高齢化	低	高
主要産業	三次産業	一次産業

○ 東日本大震災



# 岩手県の在宅医療連携拠点

- 平成24年度までに2か所で設置（盛岡、釜石）
- 今年度、新たに3か所で設置（予定）

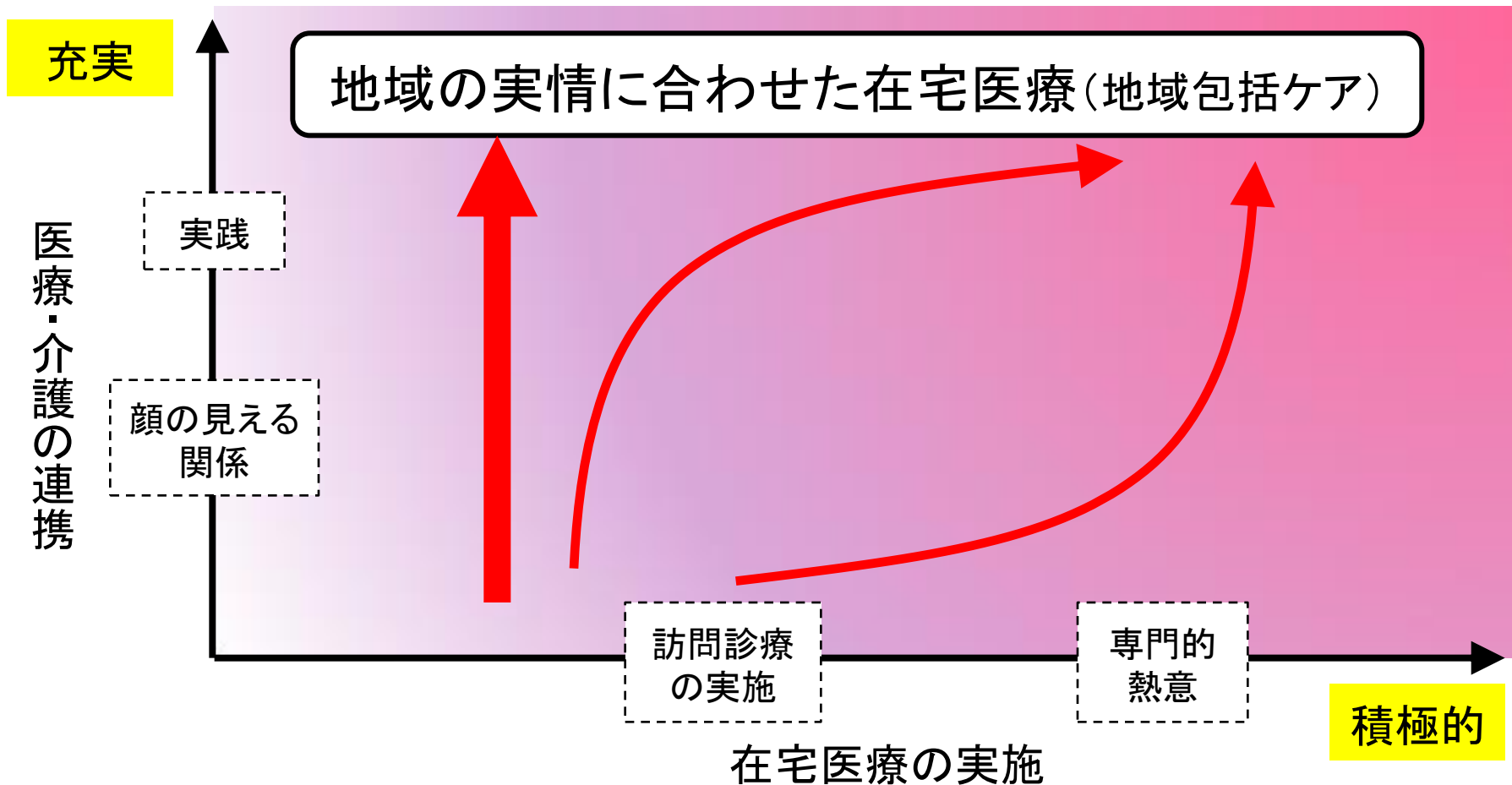
「盛岡や釜石は特別だ」

- 『あの先生』がいるから（医師がいるから）
- 『あの地域』だから（過疎、へき地、雪でできない）
- 先進的過ぎて真似できない

現実の声

⇒ 在宅医療に積極的になれない（拠点の設置が困難な）地域でどのように在宅医療を推進するのか？

# 在宅医療進捗状況による取組の方向性



『ご当地医療』  
(社会保障制度改革国民会議報告書)

# 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業

- 岩手県リーダー 6名
- H24.12、H25.1 地域リーダー研修
  - 118名受講（市町村が各職種を推薦）
  - 県リーダーが企画、県医師会が運営
  - 研修内容（資料は県HPで公開）
    - 座学（人材育成事業について（趣旨説明）、  
かかりつけ医と在宅医療の推進 他 2題）
    - グループワーク（地域における在宅医療の進め方）
    - 事例紹介（各在宅医療連携拠点から）
- H25 各地域リーダーによる研修
  - 保健医療圏単位での開催も視野
  - 6月に一関市で開催（医療と介護の連携連絡会）  
（地域リーダーによるパネルディスカッション）



第2回研修会（7月開催）の様子

# 岩手県の在宅医療推進に係る取組

- 地域リーダーの行う研修(以下の事業の呼び水に)
- 拠点事業の他、**拠点の設置が困難な地域の取組**を支援
- 拠点事業者の情報交換会
- **各職種(医・看・歯・薬・介)に対する研修会** など

- **現状を肯定し、既存の取組を活かす**
  - **いきなり新しいことに取り組む必要はない**
- **不満をおそれない**
  - **不満＝課題＝ニーズであり、共有・解決＝連携**
- **「顔の見える関係」づくり**
  - **気軽な意見交換を、県や他市町村とも**